

浜崖後退抑止工（サンドバック）の取組状況

（鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議資料）

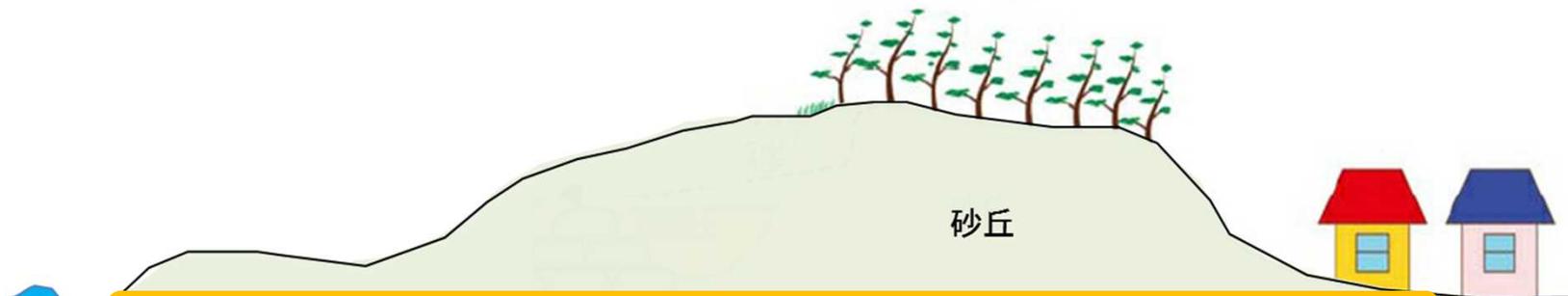
〔浜崖〕

海岸の砂丘に波が衝突することにより、切り立った崖面を形成する現象

鳥 取 県

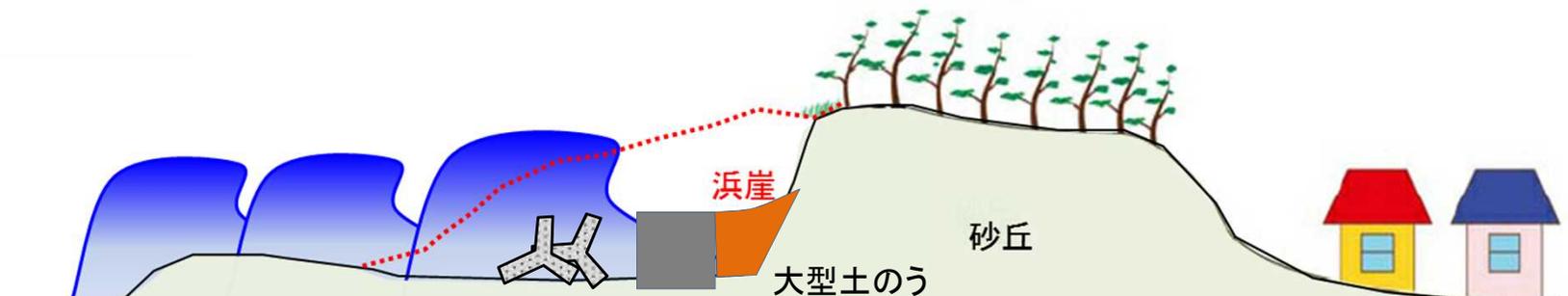
平成29年11月 1日

浜崖後退抑止工(サンドパック工法)とは



浸水防護機能および砂浜環境・海岸景観を保った理想的な海岸

岩美海岸 (陸上海岸)

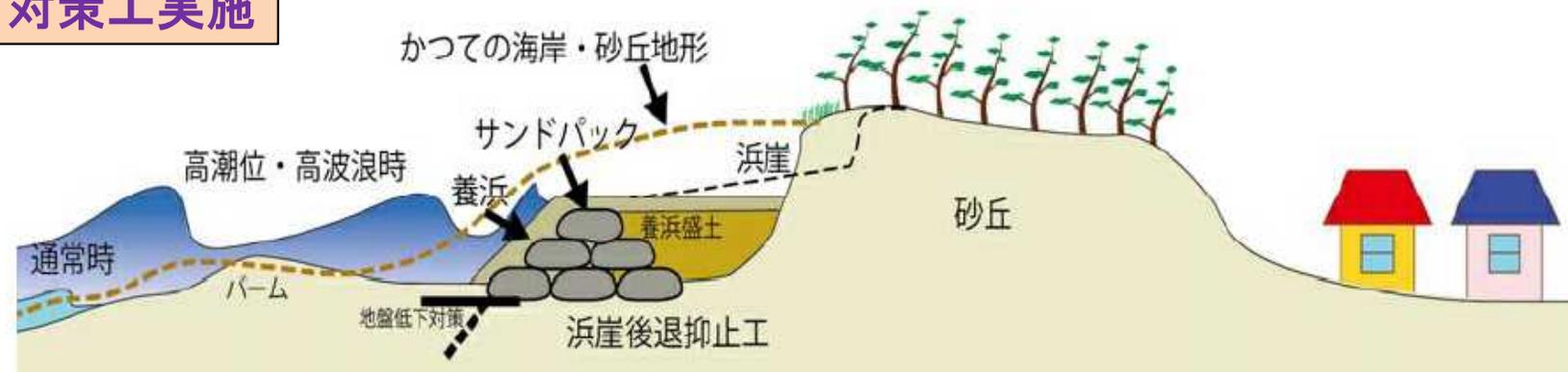


防護効果を失い、さらに景観面・安全面・維持管理面も好ましくない状況

岩美海岸 (陸上海岸)



対策工実施



他県事例 (宮崎海岸)



(浜崖後退抑止工の性能照査・施工・管理マニュアルより)

背景

(検討会設立までの流れ)

鳥取県の海岸は、山陰海岸国立公園等に指定された美しい砂浜を有する貴重な自然海岸であることから、観光・海水浴で多くの人々に利用されています。

しかし近年、高波浪等の襲来で、海岸は砂浜崖等による侵食被害を受け、施設の被災、美しい景観が損なわれるなど、安全・安心の海岸利用ができない状況となっています。



岩美海岸（陸上海岸）



青谷海岸（井手ヶ浜）



岩美海岸（浦富地区）

従前『浜崖』対策については、サンドリサイクル、消波ブロックを設置する等して対応をしてきたところですが、「自然環境」「景観」「利用」「維持管理」に十分に配慮した対策となっておりませんでした。これらの課題に対応すべく、侵食が顕著であり、景観・観光等で特に注目度が高い岩美海岸について、浜崖の技術的な方策を検討することを目的として「岩美海岸浜崖後退抑止工検討会」が設立されました。

平成29年8月21日（月）
岩美海岸浜崖後退抑止工検討会を開催
鳥取大学黒岩教授、各海岸関係者出席



今後の動き (検討会の結果をうけて)

(平成29年8月)

岩美海岸浜崖後退抑止工検討会

検討会構成員より、浦富海岸(陸上海岸)の「対策工法」等について、事務局提案のとおり(サンドパック工法)で実施することで一致

(平成29年冬季までの完成を目指し)

サンドパックの試験施工を実施中 (現在)

(試験施工後～平成30年3月頃)

モニタリングの実施、試験施工の評価

(試験施工の結果を受けて、将来的に。。。。)

本施工の実施、その他海岸の適用を検討



施工イメージ図

